

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### (1) 連結経営指標等

回次	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
決算年月	平成12年3月	平成13年3月	平成14年3月	平成15年3月	平成16年3月
売上高 (千円)	421,106	2,900,114	6,944,433	9,271,276	10,713,971
経常利益又は 経常損失(△) (千円)	△147,086	△1,379,985	438,693	1,316,964	596,430
当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△133,987	△1,379,786	457,767	1,073,016	199,516
純資産額 (千円)	2,203,527	3,322,764	3,781,686	5,204,712	6,546,951
総資産額 (千円)	2,497,631	3,999,252	5,154,870	7,113,912	8,465,276
1株当たり純資産額 (円)	503,088	216,607	123,190	81,939	96,716
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△) (円)	△82,699	△98,803	14,920	17,030	3,080
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	14,571	16,822	3,061
自己資本比率 (%)	88.2	83.1	73.3	73.1	77.3
自己資本利益率 (%)	△6.08	△49.9	12.9	23.9	3.4
株価収益率 (倍)	—	—	36.9	16.0	138.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	△70,104	△1,898,391	652,254	1,240,035	313,467
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△137,769	△914,431	△498,068	△886,123	△1,013,652
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,286,680	2,269,782	348,128	298,160	1,167,562
現金及び現金同等物 の期末残高 (千円)	2,103,413	1,560,377	2,062,691	2,713,947	3,182,036
従業員数 (名)	52	144	214	246	313
(外、平均臨時雇用者数) (名)	(12)	(18)	(19)	(29)	(75)

(注) 1 売上高には消費税等は含まれておりません。

2 第3期、第4期及び第5期については、提出会社が平成12年6月20日付、平成13年8月24日付及び平成14年11月15日付で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、期首に分割が行われたものとして計算しております。

3 1株当たり当期純利益又は当期純損失については、期中平均発行済株式に基づいて算出しております。

4 第2期及び第3期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株引受権方式のストックオプションを付与しておりますが、当期純損失のため記載しておりません。

5 自己資本利益率については、第2期は期末の自己資本残高に基づき、第3期以降は期首及び期末の平均自己資本残高に基づき算出しております。

- 6 第2期の株価収益率については、当社の株式が非上場・非登録であり、株価が把握できなかったため記載しておりません。
- 7 第3期の株価収益率については、当期純損失のため記載しておりません。
- 8 平成12年4月1日を合併期日として、当社は唯一の連結子会社であった株式会社パラダイスウェブを吸収合併しております。なお、株式会社パラダイスウェブの吸収合併に際して、当社株式を100株発行しております。また平成12年8月1日付けで株式会社ケイ・ラボラトリーを設立いたしました。同社は当社の連結子会社であります。
- 9 第5期から、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定にあたっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。同会計基準及び適用指針を第2期、第3期及び第4期に適用して算定した場合の1株当たり情報については、それぞれ以下のとおりとなります。なお、第2期及び第3期の数値に関しては、監査法人トーマツによる監査を受けておりません。

回次		第2期	第3期	第4期
1株当たり純資産額	(円)	41,924	54,151	61,595
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)	(円)	△6,891	△24,700	7,460
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	(円)	—	—	7,293

## (2) 提出会社の経営指標等

回次	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
決算年月	平成12年3月	平成13年3月	平成14年3月	平成15年3月	平成16年3月
売上高 (千円)	374,418	2,876,222	6,720,080	8,721,314	9,491,957
経常利益又は 経常損失(△) (千円)	△135,152	△1,282,592	636,153	1,259,589	449,044
当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△133,987	△1,291,543	577,113	1,029,303	71,723
資本金 (千円)	1,270,000	2,405,500	2,408,500	2,585,417	3,156,427
発行済株式総数 (株)	4,380	15,340	30,698	63,519	67,692
純資産額 (千円)	2,203,527	3,411,007	3,997,764	5,377,258	6,590,998
総資産額 (千円)	2,399,399	4,120,509	5,078,227	7,061,989	7,923,954
1株当たり純資産額 (円)	503,088	222,360	130,228	84,655	97,367
1株当たり配当額 (内1株当たり 中間配当額) (円)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	500 (—)
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△) (円)	△67,484	△92,484	18,810	16,336	1,107
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	18,370	16,137	1,100
自己資本比率 (%)	91.84	82.8	78.7	76.1	83.2
自己資本利益率 (%)	△6.08	△46.0	15.6	22.0	1.2
株価収益率 (倍)	—	—	29.2	16.7	386.6
配当性向 (%)	—	—	—	—	45.2
従業員数 (名)	52	129	155	174	215
(外、平均臨時雇用者数) (名)	(12)	(14)	(9)	(12)	(32)

(注) 1 売上高には消費税等は含まれておりません。

2 第2期、第3期、第4期、第5期及び第6期は、第三者割当増資等により株数は増加しております。なお、詳細については「第4 提出会社の状況 1株式等の状況(3)発行済株式総数、資本金等の推移」をご参照ください。

3 第3期、第4期及び第5期については、提出会社が平成12年6月20日付、平成13年8月24日付及び平成14年11月15日付で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、期首に分割が行われたものとして計算しております。

4 1株当たり当期純利益又は当期純損失については、期中平均発行済株式に基づいて算出しております。

5 第2期及び第3期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株引受権方式のストックオプションを付与しておりますが、当期純損失のため記載しておりません。

6 自己資本利益率については、第2期は期末の自己資本残高に基づき、第3期以降は期首及び期末の平均自己資本残高に基づき算出しております。

7 第2期の株価収益率については、当社の株式が非上場・非登録であり、株価が把握できなかったため記載しておりません。

8 第3期の株価収益率については、当期純損失のため記載しておりません。

- 9 第5期から、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定にあたっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。同会計基準及び適用指針を第2期、第3期及び第4期に適用して算定した場合の1株当たり情報については、それぞれ以下のとおりとなります。なお、第2期及び第3期の数値に関しては、監査法人トーマツによる監査を受けておりません。

回次		第2期	第3期	第4期
1株当たり純資産額	(円)	41,924	55,590	65,114
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)	(円)	△5,623	△23,121	9,405
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	(円)	—	—	9,194

## 2 【沿革】

年 月	概 要
平成10年 9月	株式会社サイバードを東京都港区西麻布に設立
平成10年12月	東京デジタルフォン（Jーフォン）S k y W e b 向けにモバイルコンテンツの提供開始
平成11年 2月	N T T ドコモ i モード向けにモバイルコンテンツ「なみある？」を提供開始
平成11年 4月	D D I E Z - W e b 向けにモバイルコンテンツの提供開始
平成11年 4月	D D I ポケット向けにモバイルコンテンツの提供開始
平成12年 2月	i モード向けを手始めにモバイルコマース・コンテンツの提供開始
平成12年 4月	事業の統合のため株式会社パラダイスウェブ（連結子会社）と合併
平成12年 6月	JavaOne <sup>SM</sup> にて世界初のJava <sup>TM</sup> 対応携帯電話向け商用コンテンツを公開
平成12年 7月	本店を東京都港区虎ノ門に移転
平成12年 8月	携帯電話向け技術の研究開発を進める株式会社ケイ・ラボラトリー（連結子会社）を設立
平成12年 8月	韓国にてコンテンツ開発を事業目的とするサイバード・コリアに出資
平成12年12月	日本証券業協会（JASDAQ:4823）に株式を店頭登録
平成13年 7月	携帯電話を活用したマーケティングツール「すぐメル <sup>®</sup> 」を開発、9月よりサービス提供開始
平成13年 9月	「大学前ケータイラボ」を京都大学、東北大学に設立（ケイ・ラボラトリー）
平成14年 2月	株式会社 I M A G I C A と共同出資にて、動画等のデジタルコンテンツ制作に特化した株式会社 ディムーブ（連結子会社）を設立
平成14年 3月	ドイツE-Plus Mobilfunk GmbH & Co. KG社を手始めに海外向けモバイルコンテンツサービス開始
平成14年 6月	今後の欧州における事業展開をにらみ、オランダ支店を設立
平成14年10月	株式会社オークセールに資本参加、エンターテイメントショッピングの開拓を開始
平成14年11月	世界最大手の携帯電話メーカー ノキア社に日本企業として初めてアプリケーション「World Clock II」を提供
平成14年12月	米ルーカス・フィルム社と提携、映画「スターウォーズ」の携帯電話での国内独占使用権獲得
平成15年 4月	メディア戦略部、情報システム室を新設
平成15年 4月	沖縄県/宜野座村からの支援のもと、沖縄統合モバイル・オペレーション・センター開設 ギガフロップス株式会社の全株式を取得、子会社化
平成15年 8月	本社を東京都港区六本木に移転
平成15年10月	株式会社 I M A G I C A、株式会社 I M A G I C A ディーシー21と共に、地上デジタル放送に向 け、テレビとモバイルを連携させる双方向コミュニケーション技術『ワンブッシュ <sup>TM</sup> 』を共同開 発
平成15年12月	日本テレビ放送網株式会社、名古屋テレビ放送株式会社、讀賣テレビ放送株式会社、朝日放送株 式会社を割当先とする第三者割当増資を実施
平成16年 2月	沖縄統合モバイルオペレーションセンターを拠点に、「I P コンタクトセンターアウトソーシ ングサービス」の提供を開始
平成16年 3月	サイバード・コリアの解散決議、プライバシーマーク <sup>®</sup> を取得

### 3 【事業の内容】

当連結グループは株式会社サイバード(当社)、子会社3社(株式会社ケイ・ラボラトリー、株式会社ディムーブ、ギガフロップス株式会社)及び持分法適用関連会社1社(サイバード・コリア)より構成されており、主に①モバイル・コンテンツ事業、②マーケティング・ソリューション事業、③海外事業、④技術関連事業の4つの事業を展開しております。

#### ①モバイル・コンテンツ事業

インターネット接続が可能な携帯電話向けの有料コンテンツを国内移動体通信事業者を通じて提供しております。

#### ②マーケティング・ソリューション事業

企業に対するモバイル・インターネット利用に関するコンサルティング、モバイルサイト構築の企画・開発・運用・カスタマーサポート、携帯電話を活用したマーケティング・ソリューション等を提供することにより、コンサルティング料、企画・開発・運用・カスタマーサポート費、場合によっては収益の一部を受け取る等のビジネスを行っております。また、携帯電話を利用したEコマースビジネスも行っております。

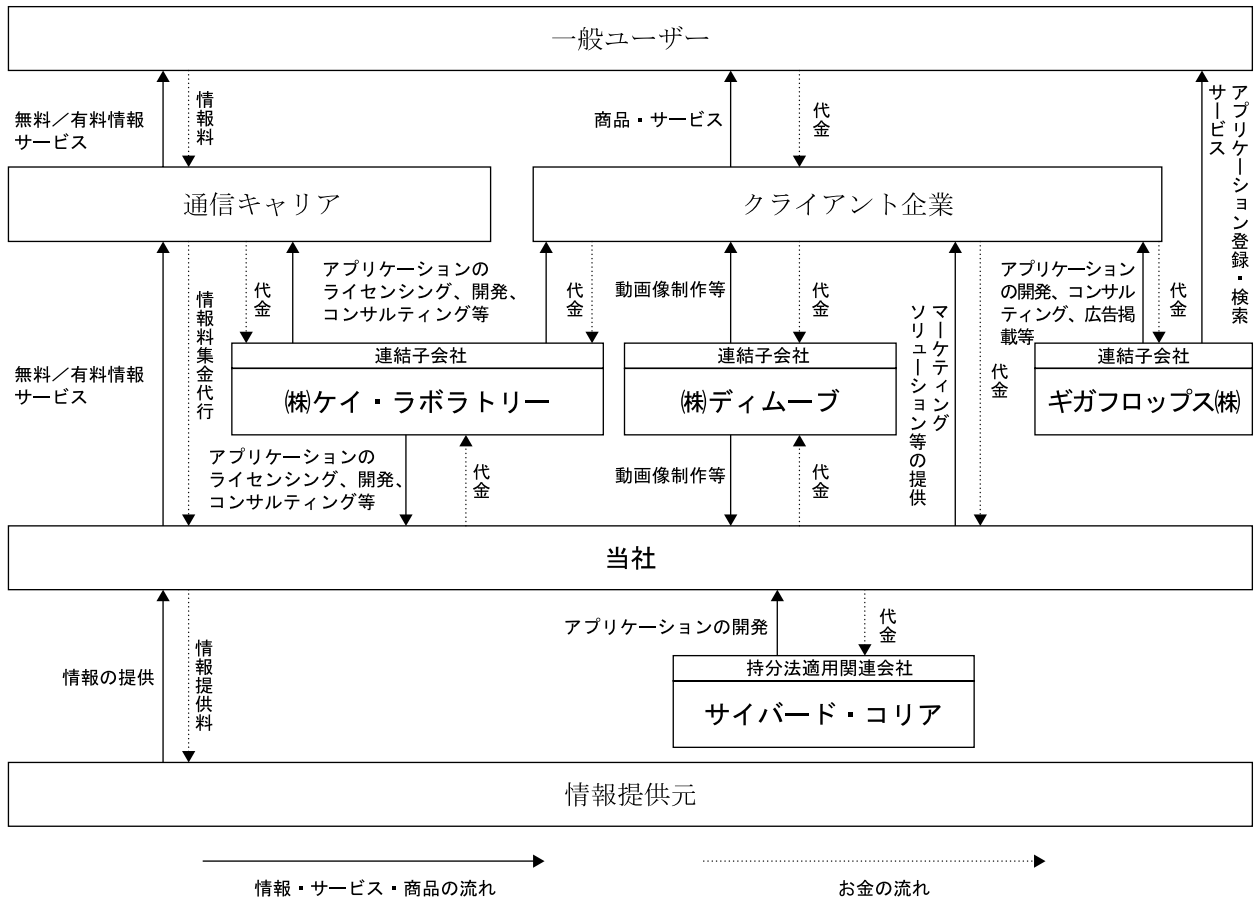
#### ③海外事業

①②④の国内3事業を海外市場において展開しております。それぞれの国のビジネス環境やリスクを勘案し、現段階ではモバイル・インターネットに関する、ソリューション提供及びコンテンツ配信に注力し、海外事業での主な収益源としております。

#### ④技術関連事業(株式会社ケイ・ラボラトリー)

連結子会社の株式会社ケイ・ラボラトリーは、携帯電話向けソフトウェア及びソリューションの研究開発企業であります。これまでの携帯電話向けJava™及びBREW™アプリケーションの開発と運用などを通じて培った技術を基に、セキュリティ技術をベースにしたソフトウェアライセンス事業も開始しております。

なお、当連結グループの事業の系統図は、次のとおりであります。



#### 4 【関係会社の状況】

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有又は 被所有の割合 (%)	関係内容
(連結子会社)  株式会社 ケイ・ラボラトリー (注) 1	東京都港区	331,750	アプリケーションソフトウェア及びソフトウェアプラットフォームに関連する事業	59.2	当社の提供するコンテンツやサービスに使用するアプリケーションのライセンス供与や受託開発を行っている。 ・役員の兼任…………… 1名 ・当社の従業員の出向… 1名
株式会社 ディムープ	東京都品川区	50,000	携帯電話向け動画画像デジタルコンテンツの開発・加工に関連する事業	52.5	当社の提供する動画コンテンツデータの制作、保管、配信サーバ運営を行っている。 ・役員の兼任…………… 1名 ・当社の従業員の出向… 1名
ギガフロップス 株式会社	東京都港区	70,200	携帯電話向けのコンテンツ運営者に対するコンテンツ請負制作やコンサルティング業務	100.0	当社の提供するコンテンツへのコンサルティング業務、コンテンツの請負制作を行っている。 ・役員の兼任…………… 2名
(持分法適用関連会社) サイバード・코리아 (注) 2	韓国 ソウル特別市	12 億ウォン	携帯電話向けコンテンツの開発受託、及び配信等に関連する事業	29.2	当社の提供するコンテンツの受託開発や、現地におけるコンテンツサービスの提供を行っている。

(注) 1 特定子会社に該当しております。

株式会社ケイ・ラボラトリーについては、売上高（連結会社相互間の内部売上高を除く）の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等	① 売上高	1,433,186千円
	② 経常利益	172,157千円
	③ 当期純利益	131,239千円
	④ 純資産額	364,328千円
	⑤ 総資産額	861,458千円

2 持分法適用関連会社であるサイバード・코리아は、平成16年3月30日付けで解散決議いたしました。平成16年5月末現在、清算手続き中であります。

## 5 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成16年3月31日現在

事業の種類別セグメントの名称	従業員数(名)
モバイル・インターネット関連事業	313 (75)
合計	313 (75)

- (注) 1 従業員数は就業人員数であり、臨時雇用者数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。  
2 当連結グループは、概ね単一の事業を営んでおります。また、従業員数について品目別等の区分が困難であるため、品目別の記載を省略しております。  
3 最近1年間において、従業員が67名増加しております。これは、主に提出会社及び連結子会社（株式会社ケイ・ラボラトリー）における事業拡大並びに社内管理体制の充実を図り、採用活動を強化したことによるものであります。

### (2) 提出会社の状況

平成16年3月31日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
215(32)	31.73	1.99	6,780,000

- (注) 1 従業員数は就業人員数であり、臨時雇用者数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。  
2 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。  
3 連結子会社への出向者1名は含まれておりません。  
4 最近1年間において、従業員が41名増加しております。これは、メディア戦略事業の立ち上げ、並びに社内管理体制の充実を図ったものであります。

### (3) 労働組合の状況

労働組合は結成されておりませんが、労使関係は円満に推移しております。